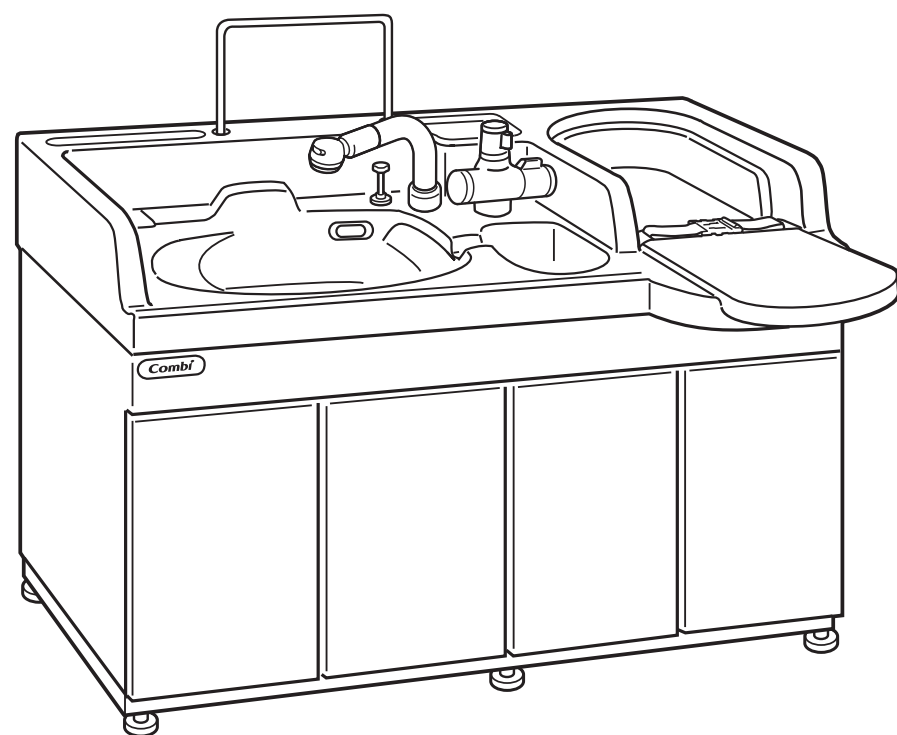


Combi 沐浴ユニットMU22 施工説明書



この度はCombi 沐浴ユニットMU22をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この製品はさまざまなお子さまがご使用になりますので、皆さまが快適にご使用いただくためには、お施主さまの安全管理が大切です。
本書の内容に従って正しく施工管理してくださるようお願いいたします。

水栓金具の施工は、付属品の「水栓金具 施工説明書」をご参照ください。

コンビウィズ株式会社

目次

■ Combi 沐浴ユニットMU22 施工説明書

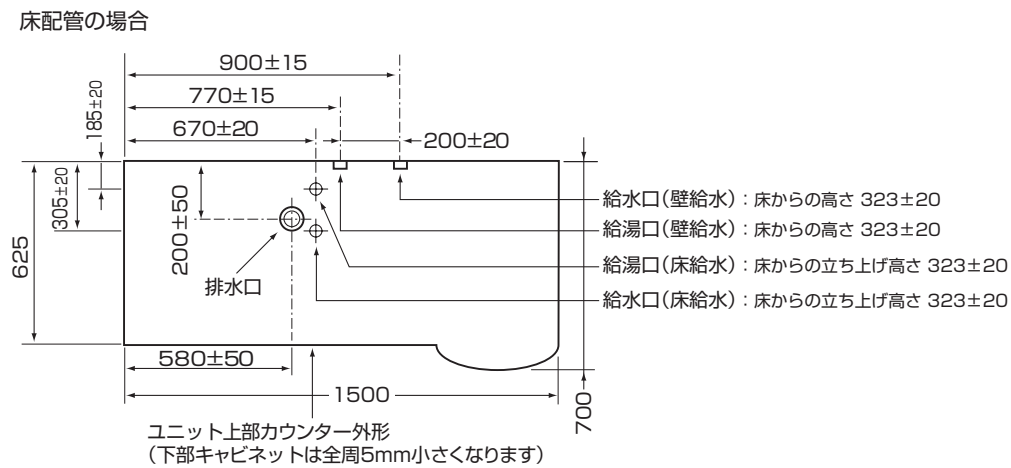
1 安全に施工していただくために	2
2 施工者のかたへのお願い	2
3 各部のなまえ	3
4 工事説明	4
事前の給水・給湯、排水工事準備	4
製品設置時の給水・給湯、排水工事準備	4
5 設置手順	5

■ 巻末資料

施工図（壁給水／床給水）

4 工事説明

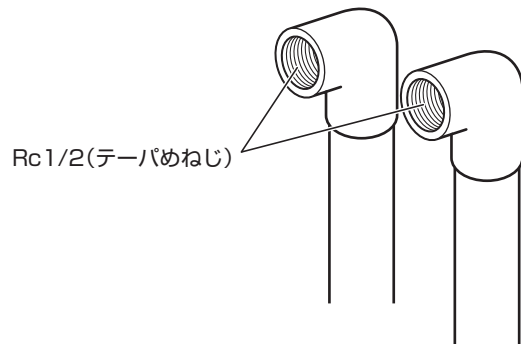
排水口、給水口・給湯口を下図の位置にしてください。(下図は当社の推奨位置です。)



■ 事前の給水・給湯、排水工事準備

(1) 給水口・給湯口

- ① 壁から給水口・給湯口を接続する場合は、上図(壁給水)の推奨位置でRc1/2(テーパめねじ)を水平に出してください。
 - ② 床からは、上図(床給水)の推奨位置から給水口・給湯口を立ち上げ、先端はエルボなどでRc1/2(テーパめねじ)が水平になるようにしてください(下図)。
- ※ 施工時に、市販の給水管・給湯管(両側オスR1/2(テーパおねじ))を接続できるようにしてください。
- ※ 給水管、給湯管の施工は、6ページ「**5** 設置手順5 給水管、給湯管、水栓金具を接続する」で行います。



(2) 排水口

- ① 排水口は上図の推奨位置とし、呼び径40mmで、直線出っ張りが20mm以上にしてください。
- ② 製品付属の排水管は、径が約35mmの塩ビ製ジャバラホースです。
- ③ 排水口は必ず、床面に設置してください。壁面排水では勾配が取りにくく、排水が流れなくなることがあります。

- ③ ガス瞬間式給湯器を使用する場合には、快適なシャワー(吐水量が8L/min時に水温度42℃を確保)を得るために、12号以上の給湯器を設置してください。給湯器の場合は、温度変化が発生しやすいのでシャワーは適温を確認して使用するよう、施主側に説明をお願いします。

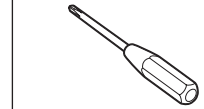
■ 製品設置時の給水・給湯、排水工事準備

(1) 給水管・給湯管

- ① 給水口・給湯口の出口長のバラツキがありますので、現地で長さをあわせられるよう、市販の呼び径13mmの給水管・給湯管(両側オスR1/2(テーパおねじ)、SANEI V22J-62推奨)を適宜ご準備ください。または、金属パイプ、切断用カッター工具、ネジ切り工具を用いてR1/2(テーパおねじ)接続部を準備してください。
 - ② 木工用にホールソー、カッターのこぎりを準備してください。
 - ③ 給水管・給湯管とアングル止水栓の接続時に必ずシールトープを巻いてください。
- ※ アングル止水栓や、クイックファスナーの詳しい接続方法については、付属品の「水栓金具 施工説明書」をご参照ください。

5 設置手順

必要工具 下記の工具を用意してください。
プラスドライバー(No.2) スパナ(呼び10mm)



※必要に応じてホールソーなどをご用意ください。

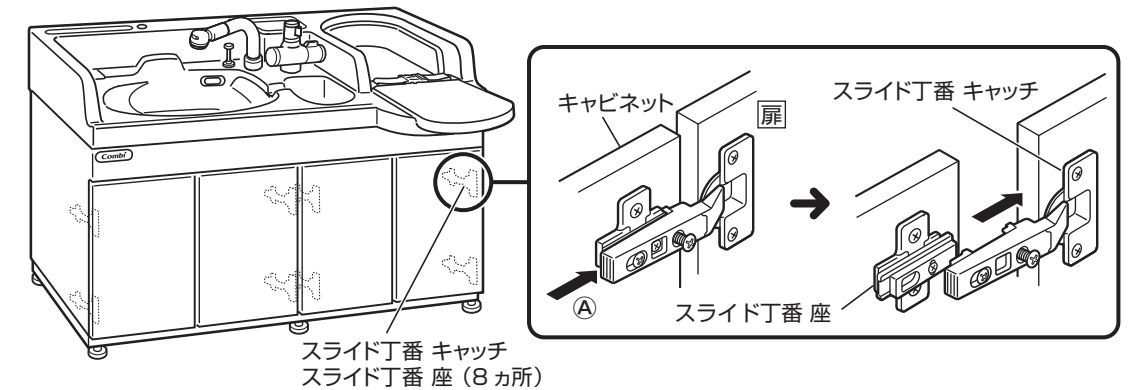


注意

増し締めするときは電動工具を使用せず、必ず手締めで、強く締め付けないようにしてください。締め過ぎるとネジ頭が変形して鋭利な形状になるおそれがあります。

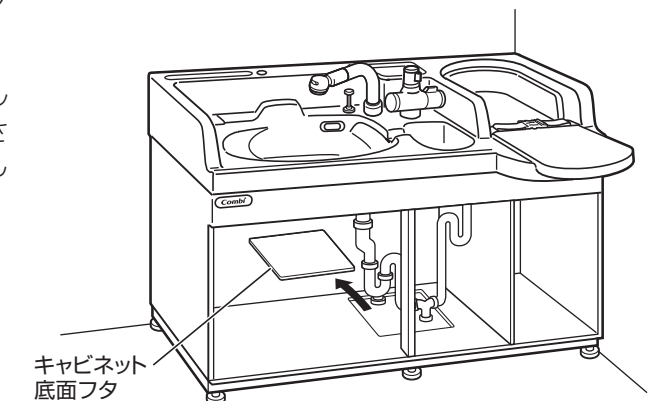
1 扉4枚をはずす。

スライド丁番 キャッチのAの部分を押し、スライド丁番 座からスライド丁番 キャッチと扉をはずします。

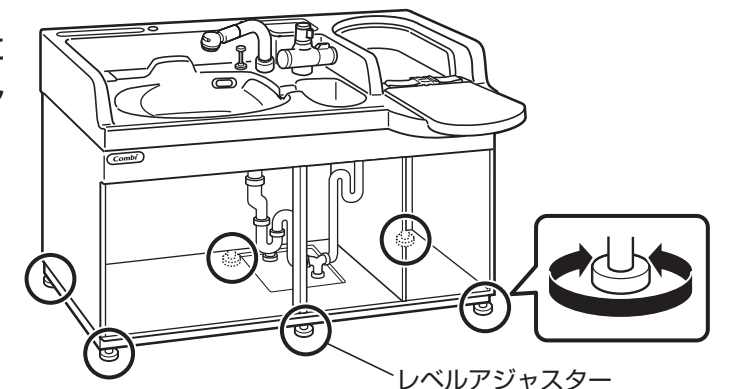


2 製品本体を設置場所に仮置きする。

排水口、給湯管、給水管の位置を合わせ、ホールソーなどでキャビネット底面フタに適切な大きさの穴をあけてからキャビネット底面フタをはずします。



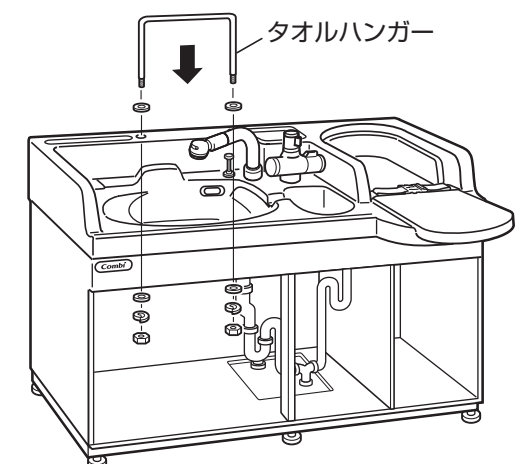
3 設置したら、ガタつきのないように下部にある6カ所のレベルアジャスターを調節して、製品本体が水平になるように設置する。



4 タオルハンガーを取り付ける。

- ① 平ワッシャを1枚ずつ入れてからタオルハンガーを上から差し込みます。
- ② キャビネットの中から、タオルハンガーのネジ部に平ワッシャ、スプリングワッシャ、ナットの順に取り付けます。
- ③ スパナ(呼び10mm)で締め付けます。

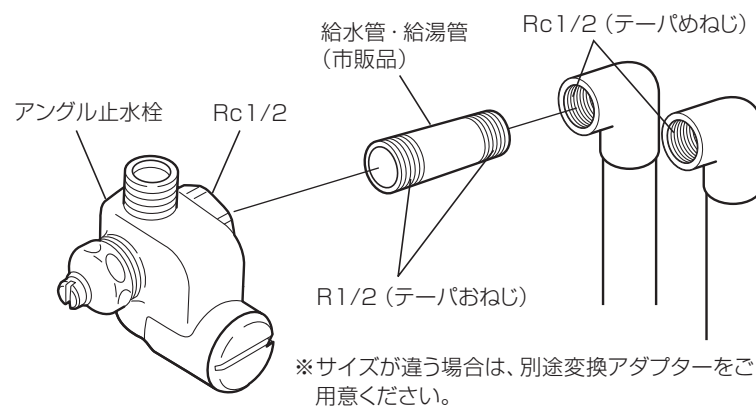
スパナ(呼び10mm)使用



5 給水管、給湯管、水栓金具を接続する。

接続方法については、付属品の「水栓金具 施工説明書」をご参照ください。

※ アングル止水栓やクイックファスナーの施工は、水栓金具・施工説明書「施工について」をご参照ください。



注意

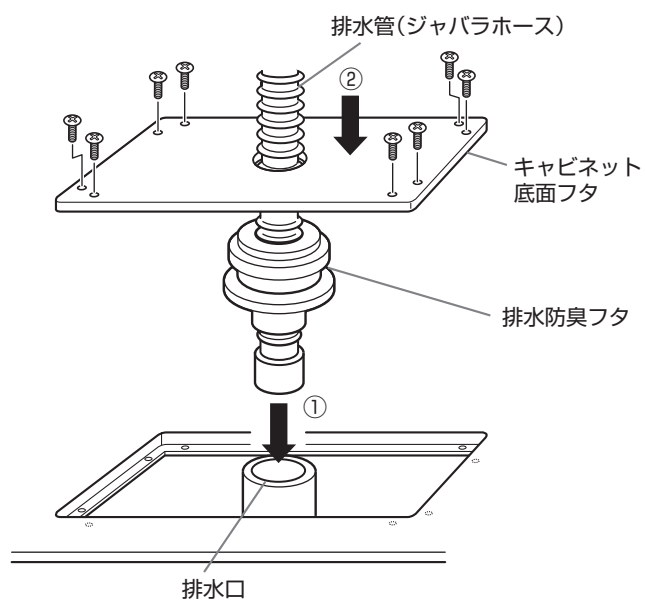
給湯温度が60℃を超える場合には、止水栓などを断熱材で覆ってください。触れるとヤケドのおそれがあります。

6 排水管を接続する。

① 排水防臭フタを通した排水管のジャバラホース先端を排水口に入れ、排水防臭フタを押し込みます。

② キャビネット底面フタをネジ (8 カ所) でとめます。

■付属「排水防臭フタ」排水口適合内径：φ 40、φ 44、φ 56、φ 71、φ 77



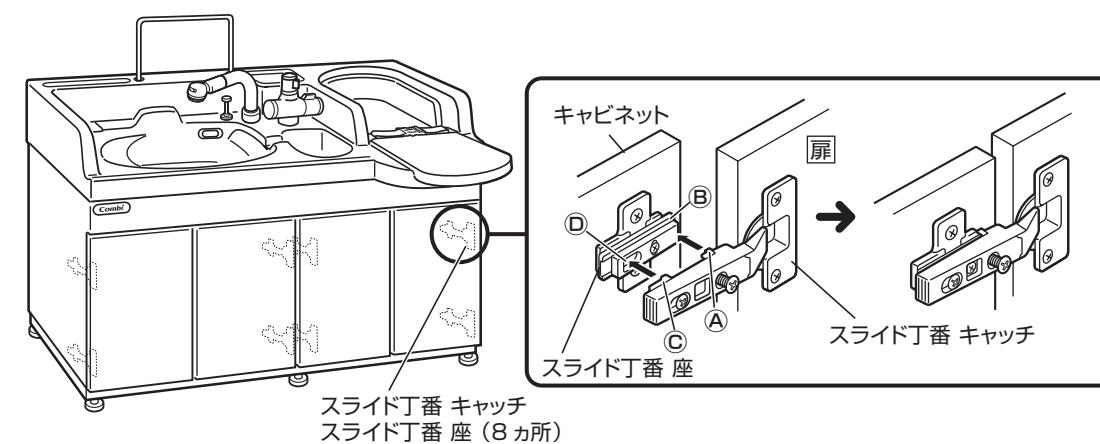
7 水受けパレットを伸縮シャワーホースの下部に置く。

8 実際に湯水を出してチェックする。

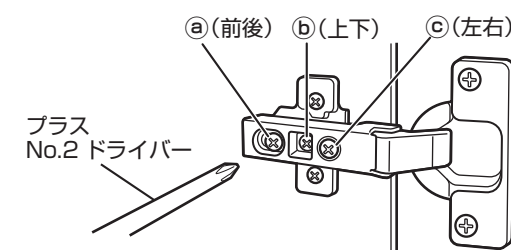
- 給湯器を作動させ、お湯が出る設定にします。
- 給湯水、排水接続部に水漏れがないかチェックします。
- サーモスタットが機能するかチェックします。
- 伸縮シャワーホースを伸縮して配管部に引っかからないかチェックします。

9 扉4枚を取り付ける。

ⒶのツメをⒷ部にひっかけ、ⒸのツメをⒹ部にはめます。

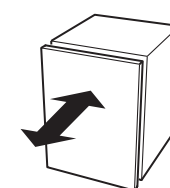


扉の調整方法



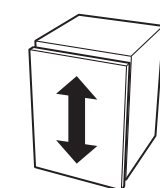
調整可能範囲

- Ⓐ 前後調整 ±2mm
- Ⓑ 上下調整 ±1.5mm
- Ⓒ 左右調整 ±2mm



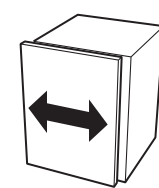
前後調整

ネジⒶをゆるめ、扉 (左右) を前後に動かし適当な位置を選び、しっかりネジを締めます。



上下調整

ネジⒷをゆるめ、扉 (左右) を上下に動かし適当な位置を選び、しっかりネジを締めます。



左右調整

ネジⒸを左右に回して適当な位置を選びます。



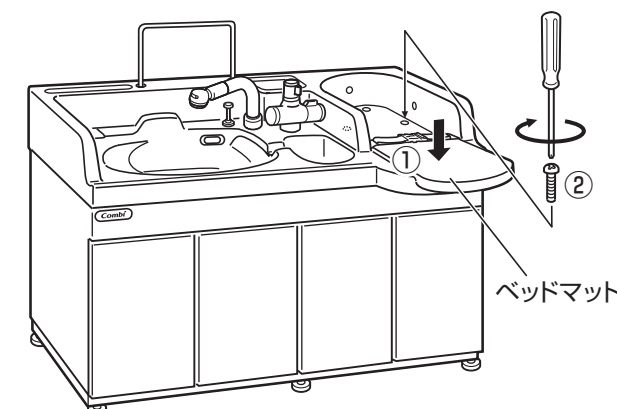
注意

扉は100° 以上開かないでください。それ以上開くと、スライド丁番 座を締め付けているビスが抜けて脱落するおそれがあります。

10 おむつ交換台のベッドマットを取り付ける。

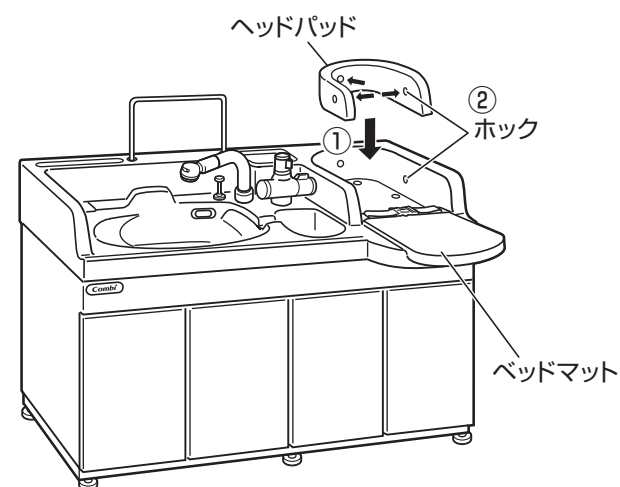
- ① ベッドマットを右図のように置きます。
- ② 奥側3 カ所の取付穴にベッドマット固定ネジをプラスドライバー (No.2) で取り付けます。

プラスドライバー (No.2) 使用



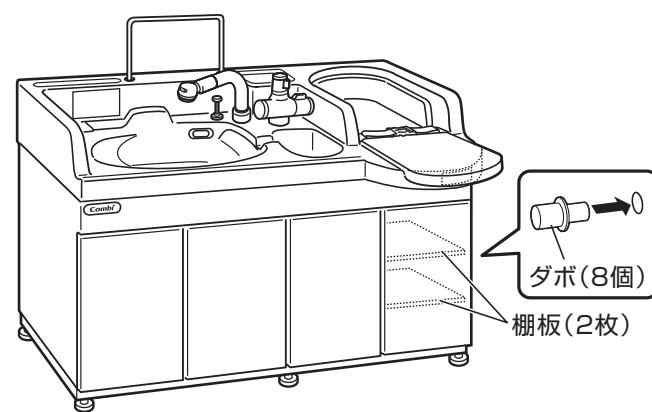
11 ヘッドパッドを取り付ける。

- ①おむつ交換台の奥に傾斜の合う向きにヘッドパッドを置きます。
- ②ヘッドパッドの3カ所のホックを押し込み、固定します。



12 右側に棚板を取り付ける。

棚板2枚を任意のところでダボを差し込み、棚板の溝に合わせてのせます。



警告

取り付け完了後は、必ず説明マニュアルの「日常点検」(7～10ページ)を参照の上、点検してください。施工が不完全のまま使用された場合、ケガや重大事故の原因になります。

Combi

本マニュアルは、コンビウィズ ホームページ(www.combiwith.co.jp)からもダウンロード(PDF)できます。ご活用の際、お願いいたします。

●製品に関するお問い合わせ

コンビウィズ株式会社

本社/〒111-0041 東京都台東区元浅草2-6-7
URL/www.combiwith.co.jp

●修理・点検に関するお問い合わせ／コンビウィズ(株) サービスセンター

【受付時間】 祝祭日を除く、月～金 10:00～17:00

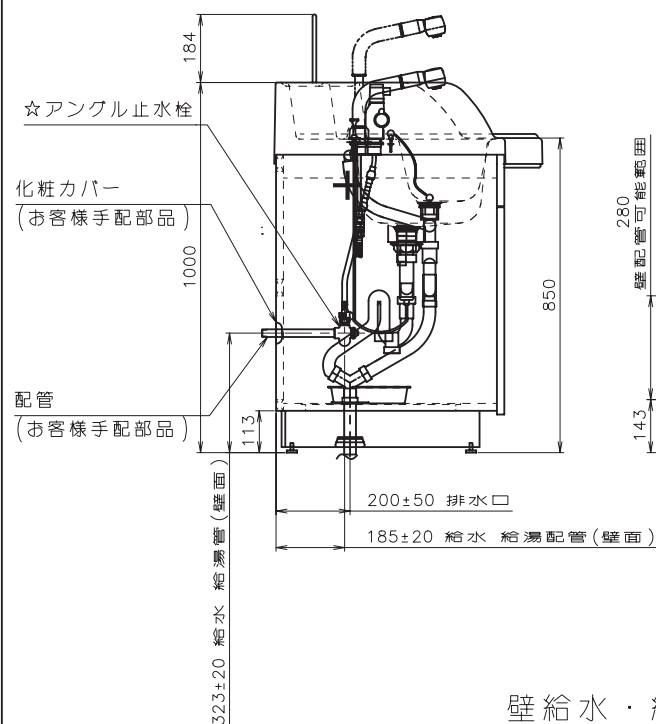
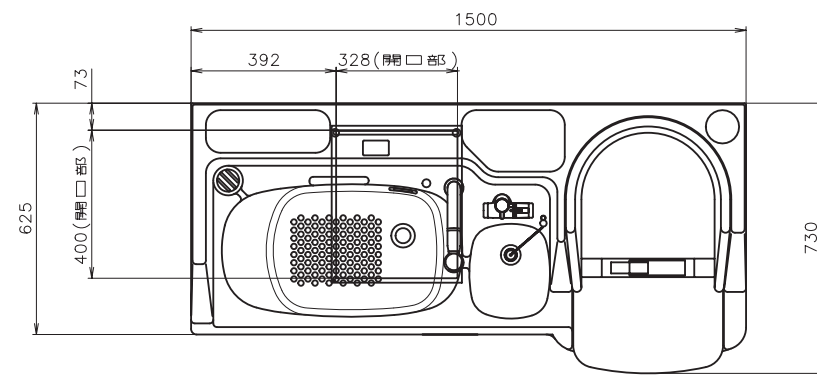
TEL.03-5806-4621 FAX.03-5828-7630

特記事項

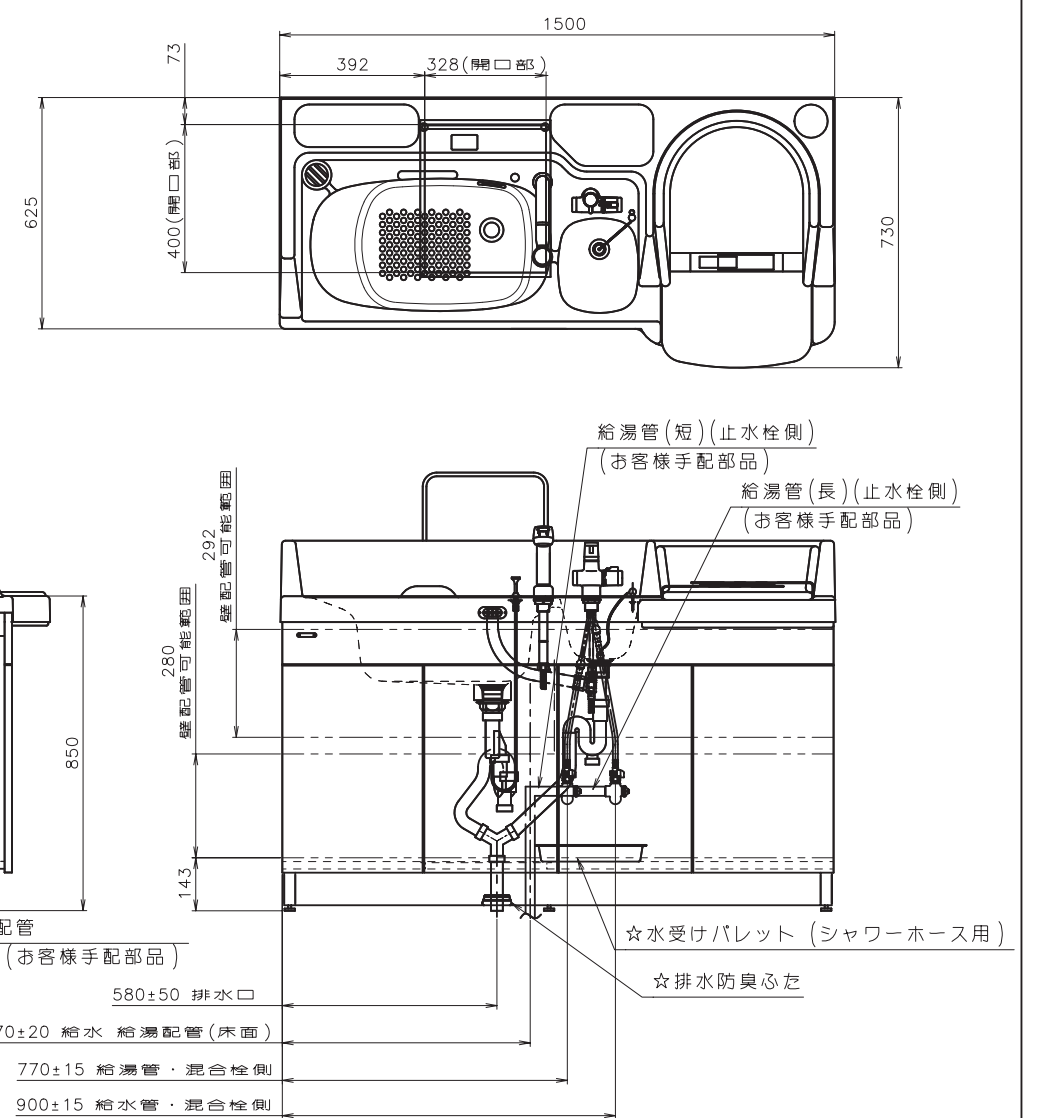
1. 給湯管・給水管・排水管の位置は現場確認願います。(図面上の寸法は参考です)
2. 給湯管・給水管の口は呼び径13mm Rc1/2(テーパめねじ)にして下さい。
3. 給湯管・給水管の口は壁からの場合は正面に床からの場合は右に向けて下さい。



4. 排水口の径は、直径50mmで床面から20mm出してください。
5. ポイラーがなくガス瞬間式給湯器を設置する場合、12号以上の給湯器を設置してください。
給湯器の場合は、温度変化が発生しやすいのでシャワーは適温を確認して使用するよう施工側に説明願います。
6. 現場によって給湯口・給水口・排水口の径や出口長が違う場合は、恐れ入りますが部品など現場対応にてお願いします。
7. 設置工事には、必要工具を準備願います。
8. 排水口にはかならず排水防臭ふたを押し込んでください。
9. ☆印部品は付属しております。
10. 給湯管・給水管・排水管にシャワーホースが干渉しないようにお願いします。
11. 配管作業完了時に各接続部にゆるみがないことを確認してください。
水漏れ発生の原因となります。



壁給水・給湯の場合



床給水・給湯の場合

本図の寸法は参考値となります。